

2017年 JSAPD オープンセミナー抄録

歯周病の特徴は①患者によって罹患程度の差が大きい、②罹患部位とそうでないところが混在している（部位特異性が大きい）点が上げられます。今回、藤川先生の全身から見たリスクファクターの検討により、歯周病と全身疾患との関連性を学び、局所から見たリスクファクターを検討していきます。歯周病が悪化する局所リスクファクターとして①根分岐部病変、②楔状骨欠損、③不適合補綴物などがあります。ただ臨床家としては単なるファクターをそのままとらえるのではなく、他の要素を考慮しながら治療を進めるべきと考えるようになりました。特に根分岐部病変では機械的にⅡ度、Ⅲ度を改善すれば良いと以前は考えてきましたが、補綴物のトラブル経験から現在の分岐部病変に対する考え方等を伝えて行ければと思っています。また様々なファクターからどのように患者をとらえて歯周治療をするようになったのかも合わせてお話したいと思っています。

木村守宏